



東京マラソン 2016 チャリティ (Run with Heart) チャリティランナー (定員 3,000 人) 募集締め切りのお知らせ

一般財団法人東京マラソン財団は、東京マラソン 2016【平成 28 年 2 月 28 日 (日) 開催】のチャリティランナー申込者が定員 3,000 人に達したため、チャリティランナーの申込受付を終了いたしました。

10 回記念大会となる東京マラソン 2016 チャリティにご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

なお、寄付金については、平成 28 年 3 月 31 日 (木) 午後 5 時まで受け付けておりますので、引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

■一般財団法人東京マラソン財団 櫻井孝次 (さくらい こうじ) 理事長コメント

“つなぐ”をコンセプトに 2011 大会からスタートした東京マラソンチャリティは、前回の 2015 大会において寄付総額が累計 10 億円を突破し、チャリティ事業を始めて 6 回目にあたる今回大会において、チャリティランナーの申込者が初めて定員 3,000 人に達しました。これほど多くの方々に、本事業の趣旨にご賛同いただき、東京マラソンを通じた社会貢献に関心を寄せていただいたことに大会主催者として感謝申し上げます。

東京マラソンに参加される皆さんの想いをつなぎ、チャリティ文化の醸成に貢献できるよう、引き続き東京マラソンはチャリティ事業に取り組んでまいります。

■チャリティ・アンバサダーからのコメント

朝日健太郎 (あさひ けんたろう) 氏 (寄付先: スポーツレガシー事業)

東京マラソン 2016、チャリティランナーとして出走することが決定しました!!
今回もクラウドファンディングで、たくさんの方から寄付の協力をしていただいております。
私が走ることで、2020 東京五輪、そして未来の子どもたちへつなげる手助けになれること、
そのことがスポーツのレガシーにつながることを願っています。
引き続き、寄付のご協力を宜しく願いいたします。
チャリティシート <https://www.runwithheart.jp/asahi/>

大島めぐみ (おおしま めぐみ) 氏 (寄付先: スポーツレガシー事業)

東京マラソンの記念すべき 10 回記念大会に、チャリティランナーとして参加します。
私が今できることは、現役時代に多くの方に支えてもらったこと、自分が経験してきたこと、
感じたことを若い世代に伝えていくこと。それが未来のアスリートの育成につながると信じて
います。世界を目指すアスリートの未来へつなぐために走ります。
引き続き、寄付のご協力を宜しく願いいたします。
チャリティシート <https://www.runwithheart.jp/oshima>

その他、詳細については、東京マラソン 2016 チャリティ 公式ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.runwithheart.jp/>

参 考 過去大会チャリティランナー申込者数

2011 大会 707 人	2012 大会 1,743 人	2013 大会 2,215 人
2014 大会 2,593 人	2015 大会 2,930 人	※ただし、2011 大会のみ定員 1,000 人

【一般の方のお問い合わせ先】

東京マラソンチャリティ事務局 電話: 03 (5474) 2091 (平日 10:00 ~17:00)

【報道関係者向けお問い合わせ先】※以下お問い合わせ番号の媒体への掲載はご遠慮ください

東京マラソン財団 広報担当: 黒川、両角、山崎 電話: 03 (5500) 6639

参考資料

■東京マラソン 2016 チャリティ寄付先 13 事業について

●一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業

【活動内容】若手アスリートを対象とした人材育成・キャリア支援（強化育成）をはじめ、障がい者スポーツの振興（普及啓発）、スポーツを軸とした被災地支援（社会貢献）、スポーツを楽しむ施設の整備（環境整備）

●特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会

【活動内容】紛争で故郷を追われた難民の命を守るテントの設置

●公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

【活動内容】知的障害のある人たちへのスポーツ活動の提供・普及

●公益財団法人そらぶちキッズキャンプ

【活動内容】難病とたたかう子どもたちと家族を、夢の医療ケア付きキャンプ場に招待

●公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

【活動内容】都民のスポーツの普及・振興

●公益財団法人東京都農林水産振興財団

【活動内容】花粉の少ない森づくり：スギ林の伐採と花粉の少ないスギの植栽によるスギ花粉の削減

●公益財団法人東京防災救急協会

【活動内容】防火・防災・救急業務関係者の育成並びに都民の防火・防災・救急に関する意識と行動力の向上

●公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

【活動内容】『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の設置と運営、ボランティアの育成

●公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

【活動内容】障がい者スポーツを通して日本の明るい未来を育てる事業

●認定特定非営利活動法人ファミリーハウス

【活動内容】重い病気のこどもが治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア

●公益財団法人プラン・ジャパン

【活動内容】インドの女の子たちに奨学金の支援事業

●公益財団法人山梨県緑化推進機構

【活動内容】森林整備で未来の水を守る水源の森再生事業

●東日本大震災復興支援事業

【活動内容】寄付金は東京マラソン財団で受け、被災地 3 県の育英事業に寄付。東日本大震災にて肉親を失った子どもたちが今後も健やかに成長できるよう、安定した学びの機会や夢・希望をもって欲しいとの願いを込めて暖かい支援をおくり被災地 3 県の子どもたちの支えとなります。

■東京マラソン 2016 チャリティ チャリティランナーのコメント

中学・高校は陸上部で大学は応援団と学生スポーツに育てられてきた人生です。今度は今活躍する若いスポーツ選手たちをサポートしていけたら幸せです。今回で 4 回目ですが感謝をこめて走ります。

（東京都 29 歳 男性 寄付先：スポーツレガシー事業）

私自身 30 代で大きな病気を経験し、今、元気に走れることに感謝の気持ちでいっぱいです。これまで自分の力を伸ばすことに挑戦してきました。これからは、将来を担う子供たちのために、少しでも力になれるように、走り続けていきたいと思えます。ぜひ皆さん寄付のご協力をお願いいたします！

（東京都 42 歳 男性 寄付先：そらぶちキッズキャンプ）

今日まで健全に事業を行ってこられた事、家族全員が健康に過ごせてきた事に感謝いたします。チャリティという形で少しでも誰かのお役に立てることを願います。

（愛知県 49 歳 男性 寄付先：国連 UNHCR）